

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士3年制	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	臨地実習Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	200 (5)
対 象 学 年	2年	学期及び曜時限	後期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	吉田美香、森優佑				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として眼科クリニックに勤務。眼科一般検査、視能矯正検査に従事				
《授業科目における学習内容》					
医療現場において、医療倫理に基づく基本的なマナーを実践し、視能訓練士として必要な知識・技術を理解修得することである。また、視能訓練士業務を行うのに必ず修得しておかなければならない基本的事項について見学及び実習を行い、今後の自己の課題を検討する。					
《成績評価の方法と基準》					
別途、実習評価基準(学外実習の手引き)に基づく。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「視能学第2版」「視能矯正学 改訂第3版」ほか学内授業で使用した教科書他					
《授業外における学習方法》					
各施設において眼科診療における検査、接遇、チーム医療について実践的に学ぶ。実習で学んだ内容を毎日レポートにし、今後視能訓練士として勤務する際に活用できるものを作成する。					
《履修に当たっての留意点》					
臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会です。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨んでください					
実習プログラム					
実習期間 時間数	1月中旬から2月下旬にかけて実習(200時間)				
実習の目的	1) 患者様に対しての眼科検査機器の使用法・操作を学び、検査の説明ができるようになる。 2) 問診、検査・診察の見学を通して眼疾患についての理解を深め、眼疾患と検査の関連を考えることができるようになる				
実習の目的	・視力検査、屈折検査 ・眼圧検査 ・問診、診察、手術見学など ・眼科一般検査の説明、見学、検査補助 ・診察、手術見学など 見学他覚的検査を中心に実施する。 各実習施設の専門性に準じる				